

# INVAX GROUP CREDO

本書はインバックスグループの社員が個々の mission や vision を成し遂げるために、どのような言動をすべきかを記した行動規範です。これを基に徹底した行動を取ることで、事業推進、利益向上、社会貢献につながればと願っています。

# Contents

---

## Chapter 1

### 新しい価値を創造する 4

過去の自分に囚われない 6

新しい自分に出会う 7

出来ない理由を並べない 8

どうすれば実現可能か考える 9

『考える時間がない』と嘆かない 10

ワクワクするまで考える 11

## Chapter 2

### 顧客以上に顧客の深層心理を理解する 12

顧客ヒアリングだけのモノづくりはNG 14

自分自身が心から満足するモノをつくる 15

「言われたことをするだけ」を解消 16

目的が何か、を考える 17

二次情報だけをベースに考えるのはご法度 18

現場主義を貫く 19

## Chapter 3

### 弛まぬ品質向上への取り組み 20

仕事に追われる状況を回避する 22

常に適切な業務管理を行い、余裕をもって仕事をする 23

見つけた問題を希望的解釈で放置しない 24

問題の火種を見つけたら、リスク回避を考える 25

## Chapter 4

### インバックスグループの一員としての誇りをもつ 26

ルールを軽視しない 28

ルールを守る、または自ら変えることも一考 29

評論家やフォロワーになるのはNG 30

自分の考え、アイデアを出す 31

上手くいかない状況を周りのせいにはしない 32

自分がどうすれば良かったのか、を考える 33

自分の考えに固執しない 34

個々の責務で仲間のやる気を引き出す 35

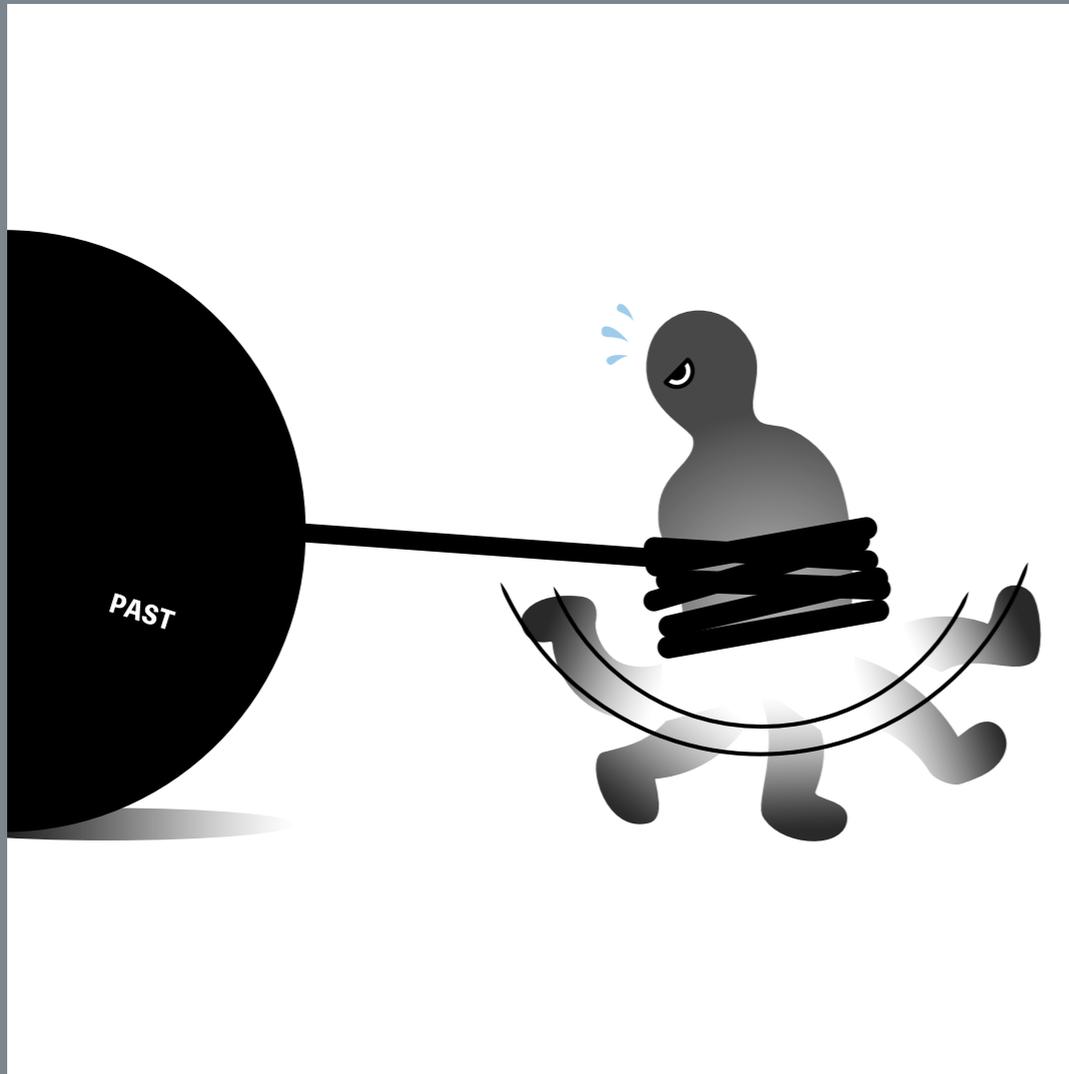
## Chapter 1

### 新しい価値を創造する

会社、人材、事業、製品、サービス、業務等、仕事に関わることにすべてに価値があります。時代、環境等、外的変化によって、求められる価値は変化していきます。

新しい価値は、周りの人たちがつくるものではありません。

自分の中にあるものです。自ら求めなければ、真の価値を知り得ることはできません。先入観を取り去り、まだ見ぬ価値を追い求め、自ら生み出しましょう。



### 過去の自分に囚われない

「昔はよかった」、「会社が変わってしまった」。  
そんな気持ちになったら、思い出してください。世界を変え  
るためには、自ら変化していくことが重要です。



### 新しい自分に出会う

もしミッション達成に近づいているなら、私たちは、日々  
変化しているはずです。毎日、毎月、毎年、新しい自分  
に出会えるよう、より良い変化を楽しみましょう。



### 出来ない理由を並べない

出来ない理由を並べるのは、評論家に任せましょう。  
簡単に出来ないことは、他社にも簡単には出来ません。  
私たちの難題への挑戦は、成長の源となります。



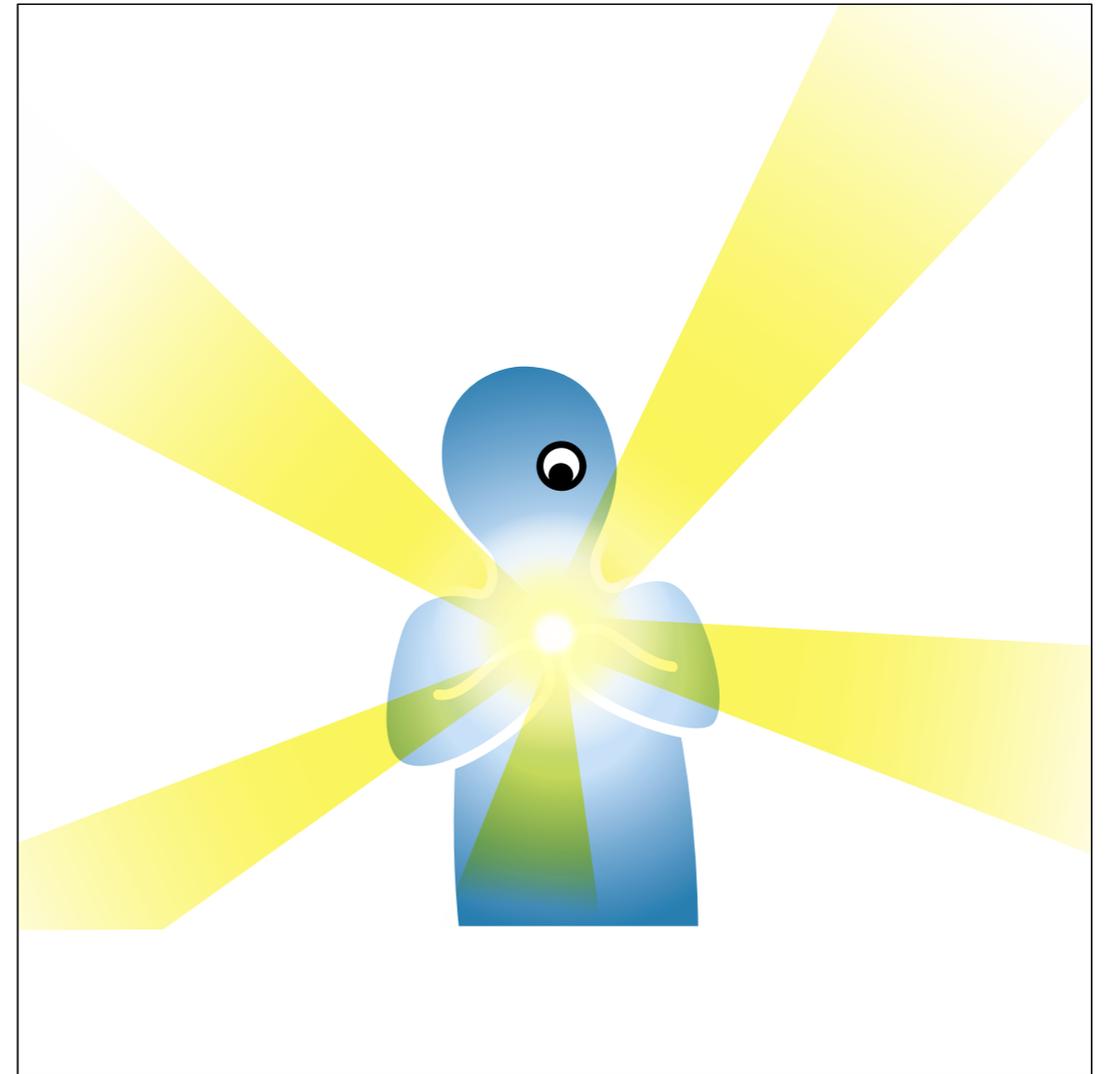
### どうすれば実現可能か考える

顧客の理想や要望をどうすれば実現出来るか、あきらめず考えるのは苦しいことかもしれませんが、時間をかければ実現出来るはず……。  
すぐに結果を出せなくても、熟考の先に創意工夫が生まれ、価値が生まれ、イノベーションが生まれます。



### 『考える時間がない』と嘆かない

「多忙で、考える時間がない」と嘆かず、自分の「情熱が足りない」ことを嘆きましょう。



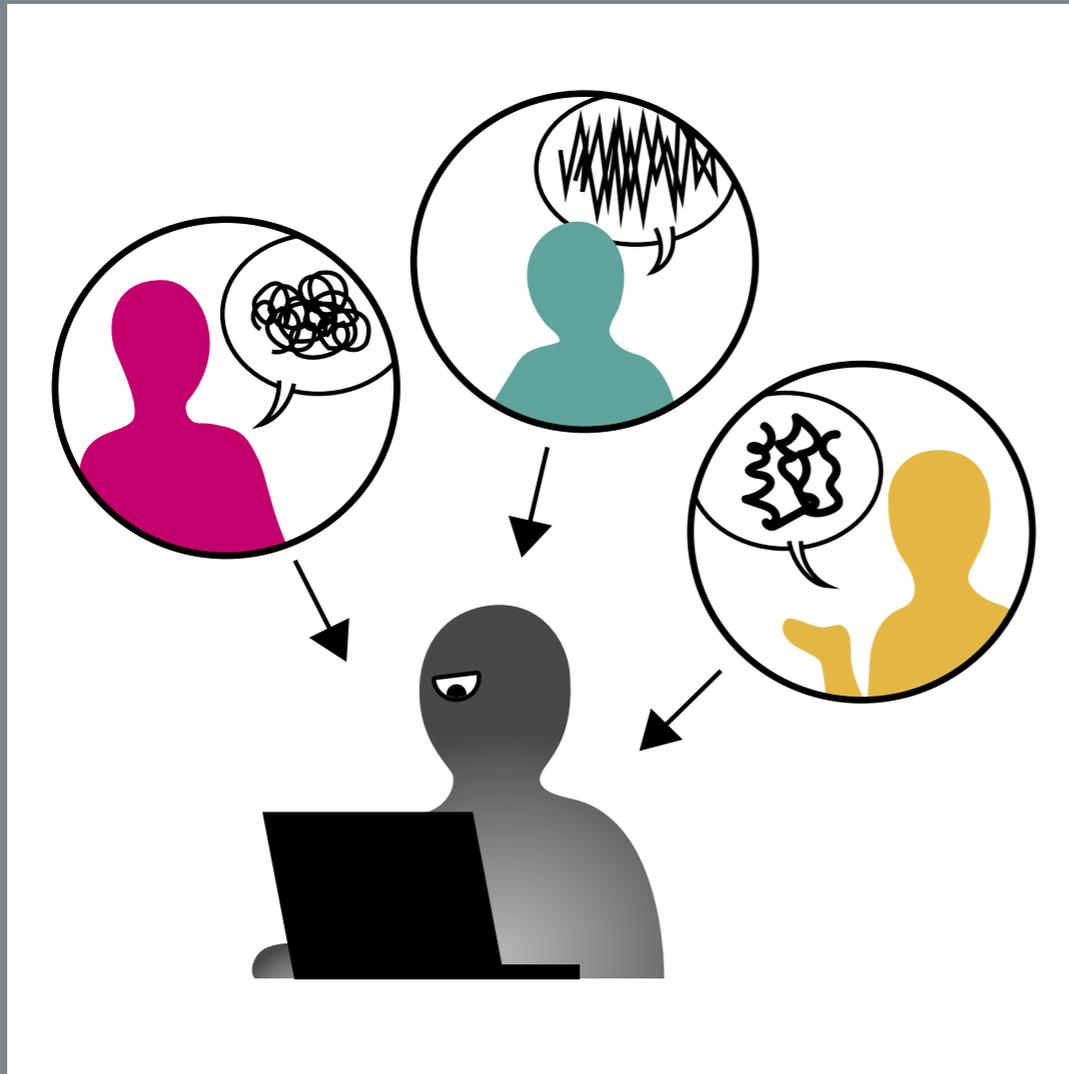
### ワクワクするまで考える

"脳みそが干切れるくらい"ワクワクするまで考えてみましょう。すると、本物の情熱が沸き上がり、いろんなアイデアがとめどなく生まれてくるはずです。

## Chapter 2

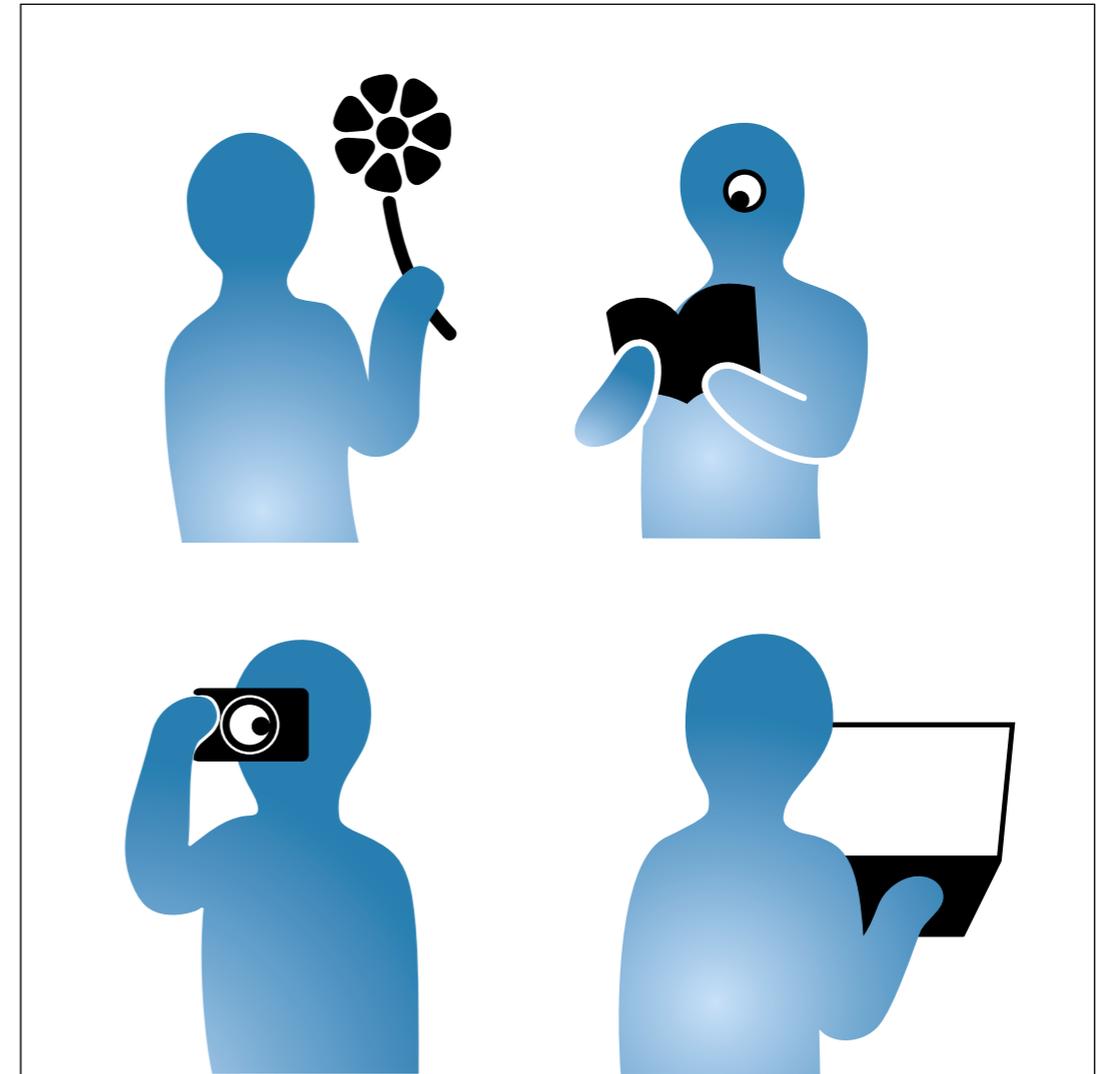
### 顧客以上に顧客の深層心理を理解する

自分たちが出来ることから考え始めるのは、控えるべきです。  
顧客の理想や要望を実現させるために知恵を絞り、謙虚に  
顧客の心に寄り添う……。  
細部までこだわり抜き、なおかつシンプルな商品やサービスを  
追求しましょう。



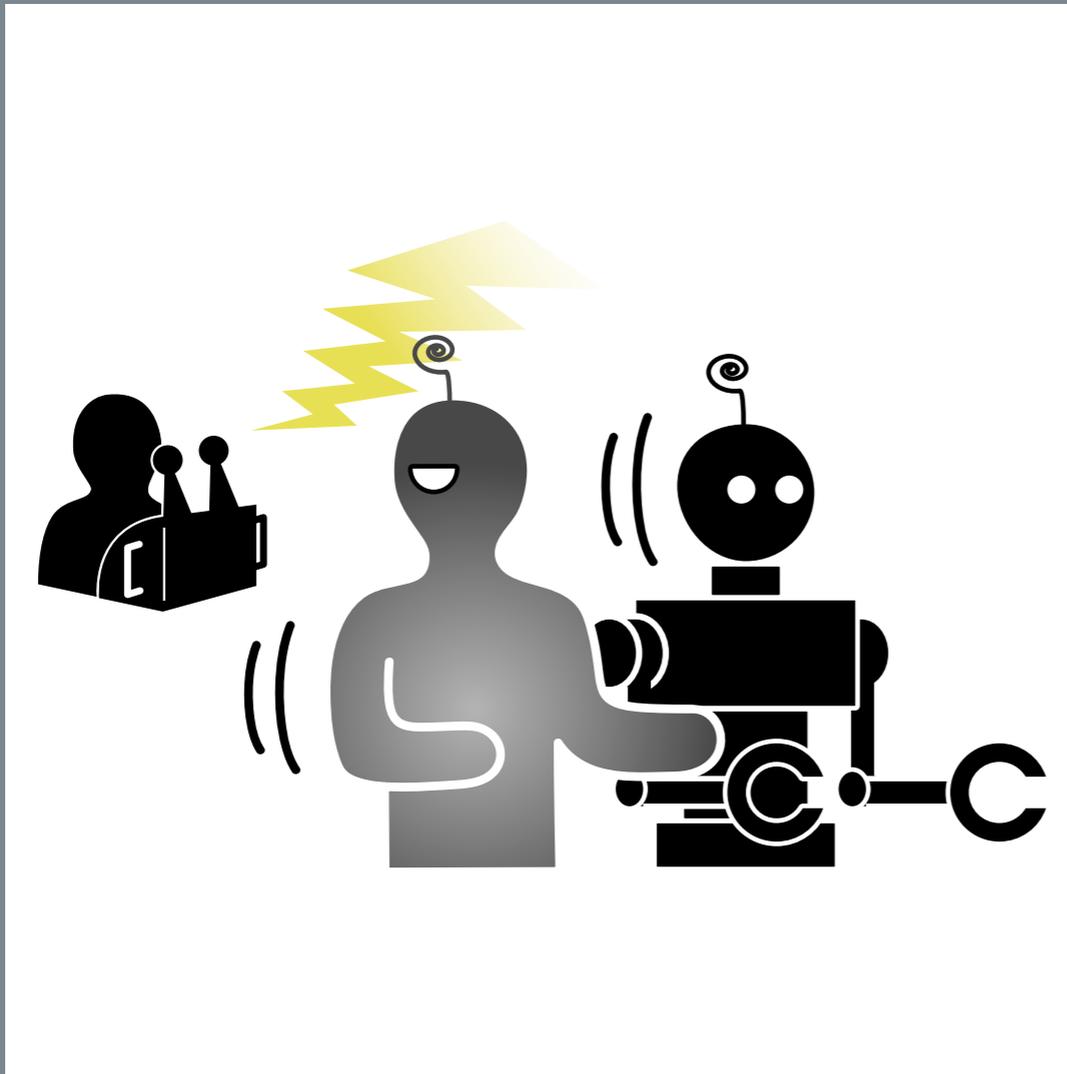
### 顧客ヒアリングだけのモノづくりはNG

顧客のヒアリングは大切です。ただ、それは問題点の"改善"を促すだけで、モノづくりの"未来"を生み出すことはできません。



### 自分自身が心から満足するモノをつくる

市場に広がる既存の製品に囚われず、個々の柔軟な発想で自分自身が心から満足するモノをつくりましょう。



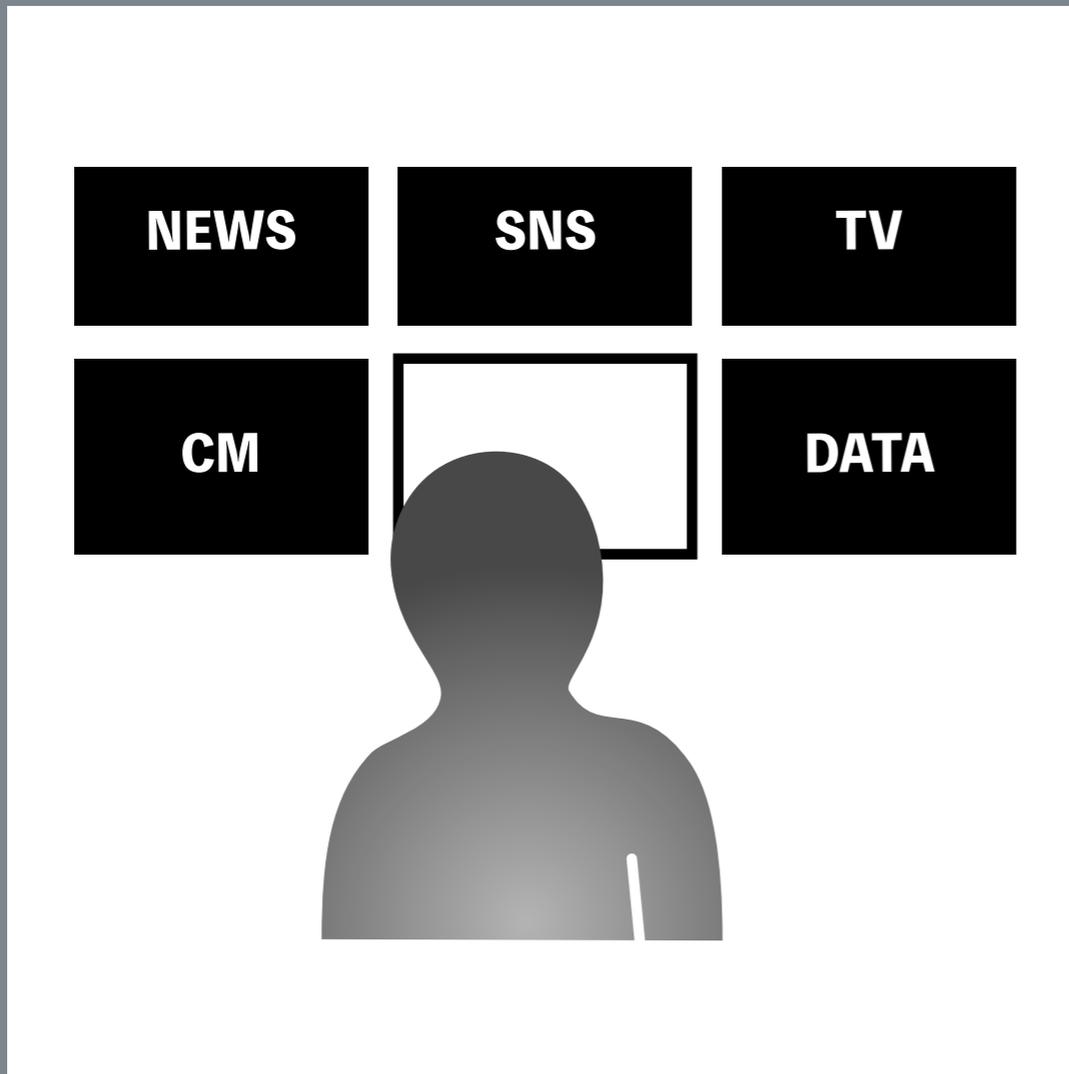
### 「言われたことをするだけ」を解消

言われたことをするだけなら、ロボットの正確性、スピード感に勝るものはありません。機械化で、人が仕事を行う必要性がなくなります。けれども、なぜ人が行う必要があるのかを考えてみましょう。



### 目的が何か、を考える

すべてのコト、モノに目的があります。その目的を考え、理解することで、真の求められているコト、モノが見えてきます。次に目的に見合った方法や手段が複数見付き、多様性が高まります。これは、ロボットには出来ません。



### 二次情報だけをベースに考えるのはご法度

トレンドを研究することは大切ですが、こうした二次情報だけでは良いモノはつくれません。



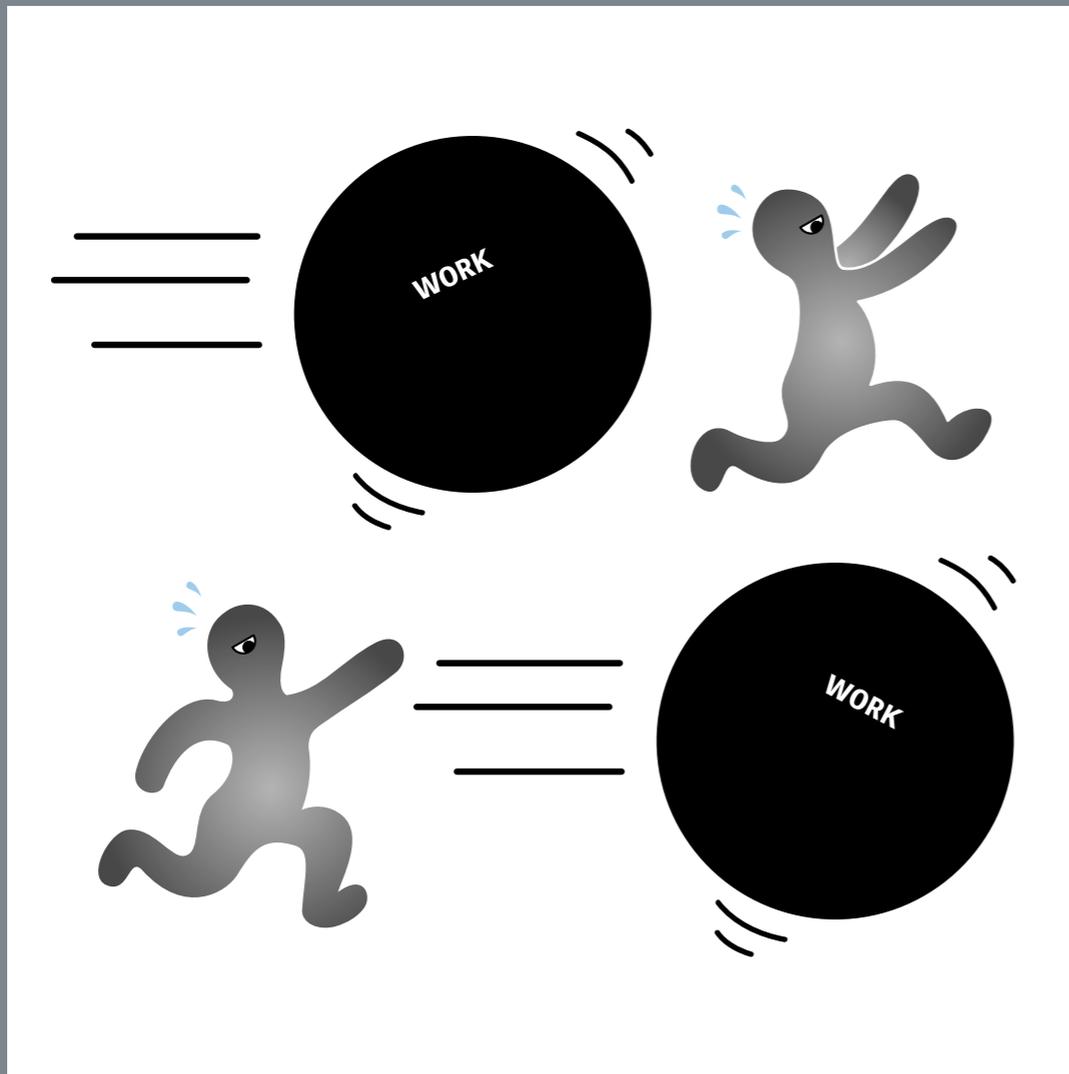
### 現場主義を貫く

自分の目で見、耳で聞き、肌で感じる……。  
一次情報こそ創造の源泉です。迷ったときは、まず現場に行きましょう。

## Chapter 3

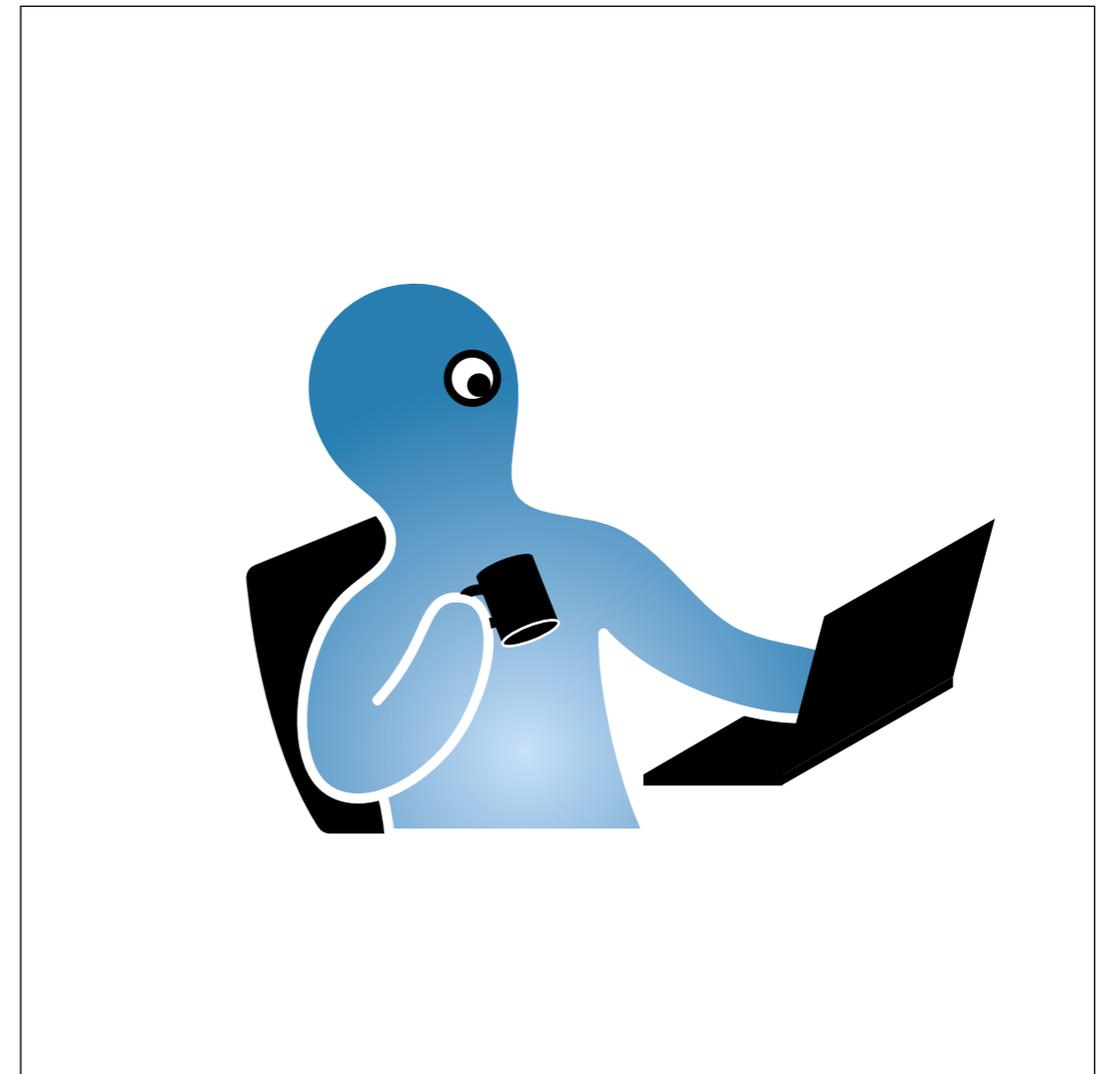
### 弛まぬ品質向上への取り組み

徹底的に品質にこだわる。プロダクトに"完成"はありません。なぜなら、時の流れとともに求められる最高品質も変化するから。品質へのこだわりとは、プロダクトの質の高さが何をもって推し量られるかを探求し続けることです。プロダクト、サービス、データの質にとどまらず、ひとつひとつの作業、業務の質に徹底的にこだわることも重要です。



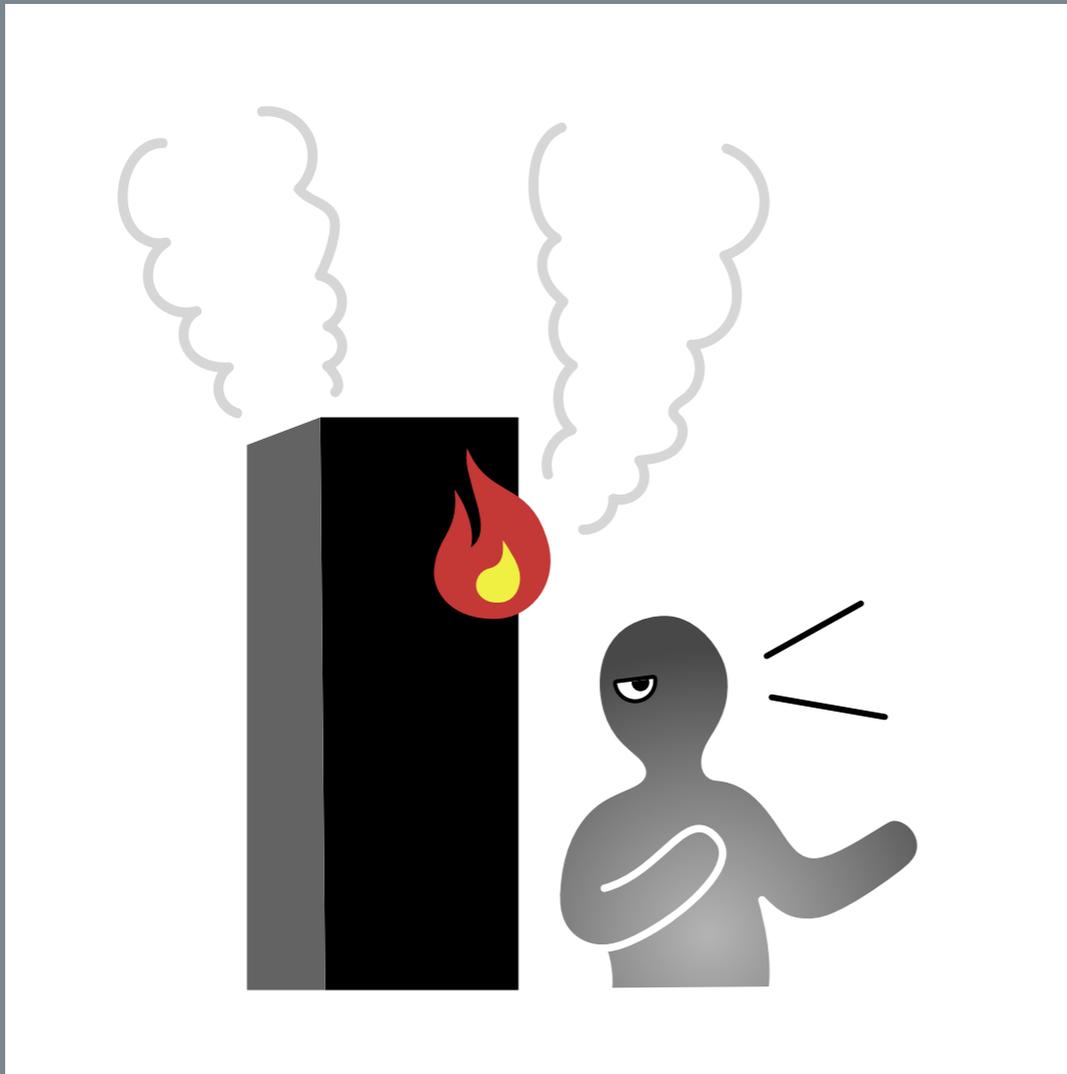
### 仕事に追われる状況を回避する

仕事に追われる状況は誰にとっても辛いもの。  
自分を追い込み、チームワークを乱し、業務スピードは下がり、  
成果は上げられず……と悪影響をもたらします。  
仕事に追われはじめたら、業務を整理するタイミングです。



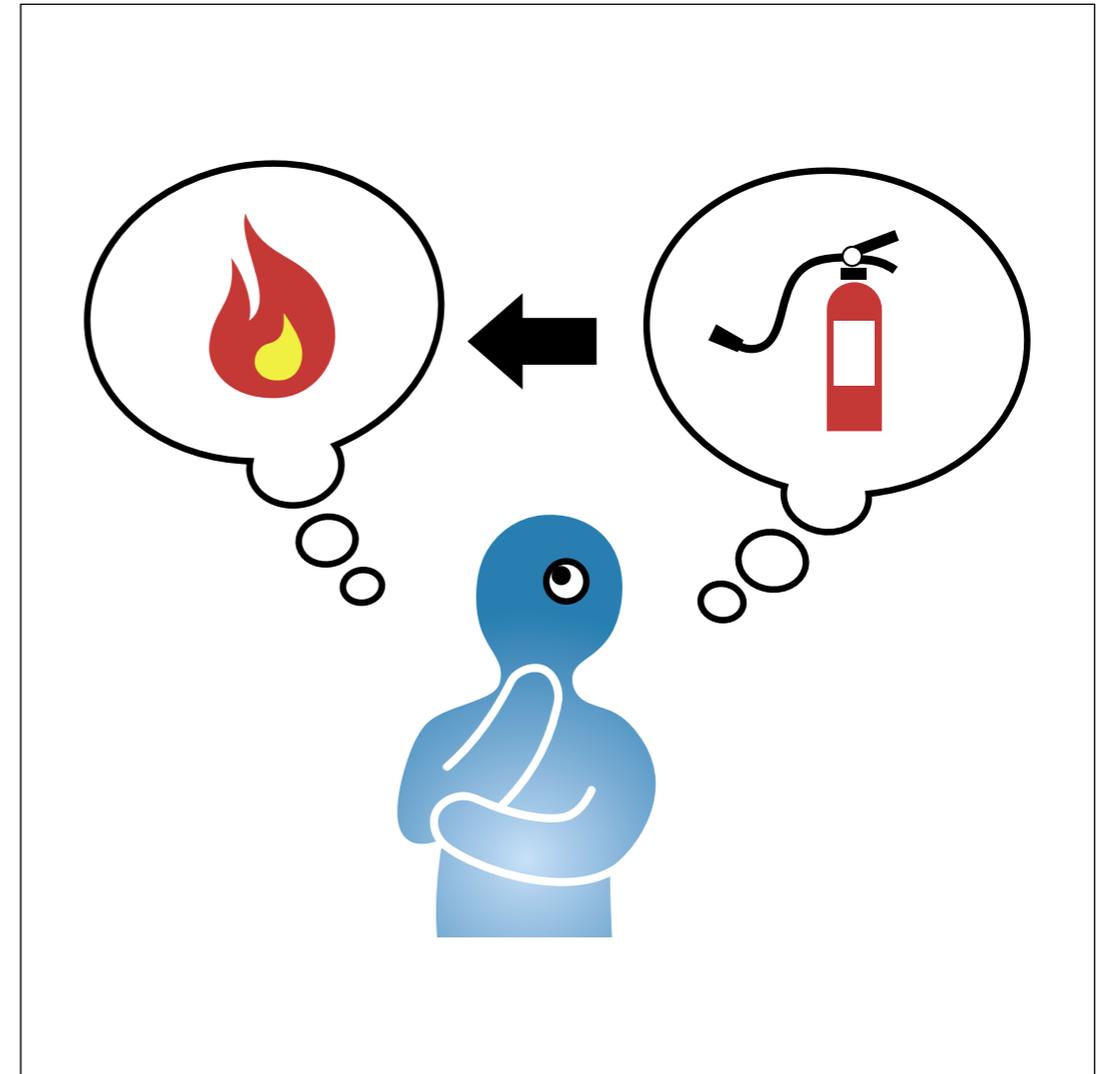
### 常に適切な業務管理を行い、余裕をもって仕事をする

仕事は余裕をもって行う状況をつくりましょう。引き受けた  
仕事と業務時間を常に精査し、優先順位を付け成果目標  
を絞り、徹底して実行。これを繰り返す人とただ頑張るだ  
けの人とでは、生産性が大きく異なります。



### 見つけた問題を希望的解釈で放置しない

問題を見つけても「誰かが対応しているかな」、「そのうち改善するだろう」と希望的に解釈し問題を見逃すことは、いずれチーム全体に悪影響をもたらします。



### 問題の火種を見つけたら、リスク回避を考える

問題の可能性を見つけたら、それをみんなに伝え、リスク回避の方法を熟考し、解決までつなげましょう。まず、責任者と担当者に相談。一緒に解決策を講じましょう。その行動がスタッフと会社の未来を守ります。

## Chapter 4

### インバックスグループの一員としての誇りをもつ

企業活動の要<sup>かなめ</sup>は、人材です。

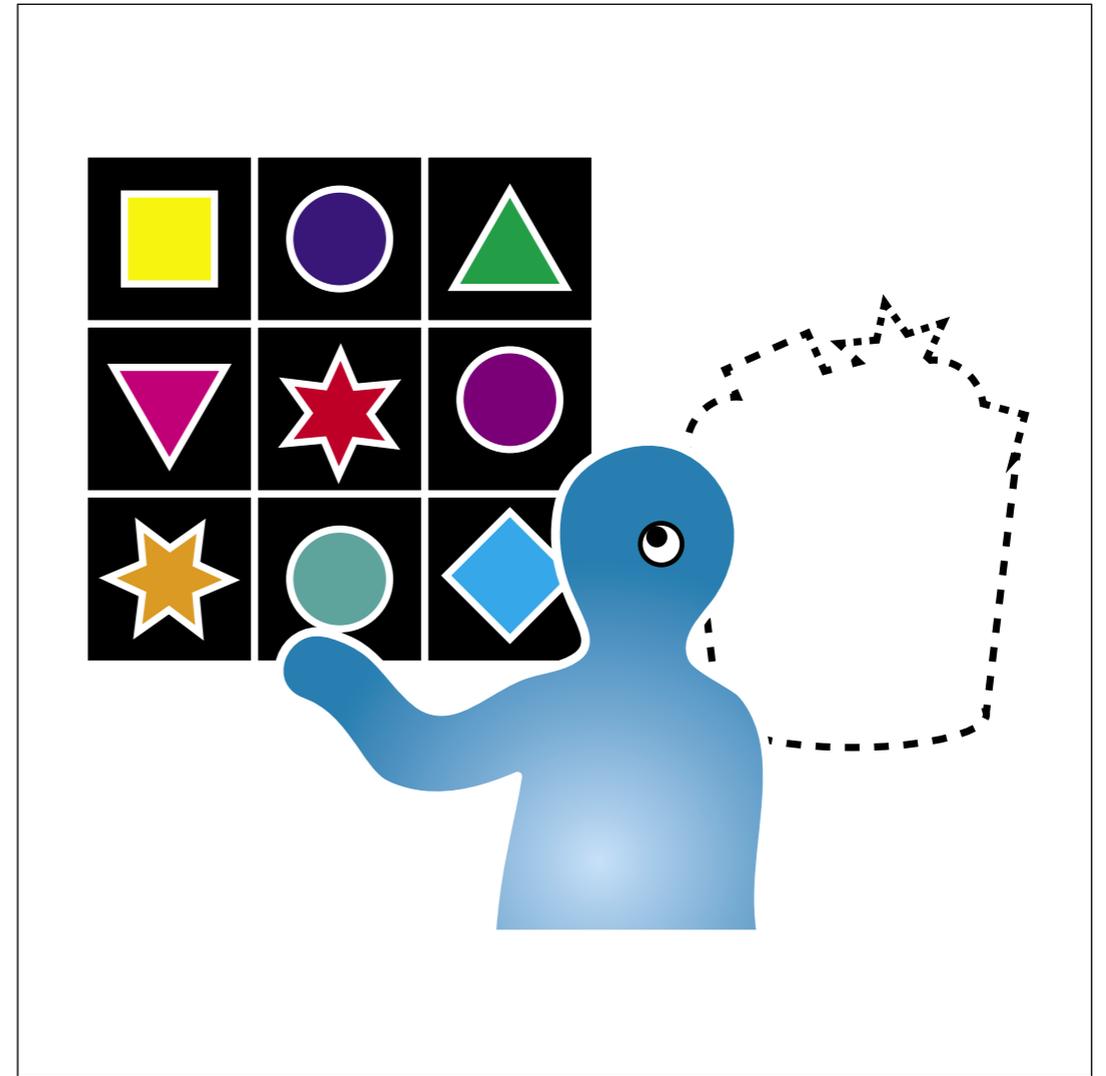
ひとりひとりが、プロとしての誇りを持ち、仕事を通じて人間力を高め、時を重ねて自信を深め、インバックスグループの主役として、輝きながら業務に励みましょう。

個々の活躍がインバックスグループの成長を促し、社会の人々の安全・安心へとつながります。



### ルールを軽視しない

ルールを軽視してしまう心が生まれた時、思い出してください。自由な会社であるからこそ、決められたルールに高い倫理で守るべき誠実性が求められることを。



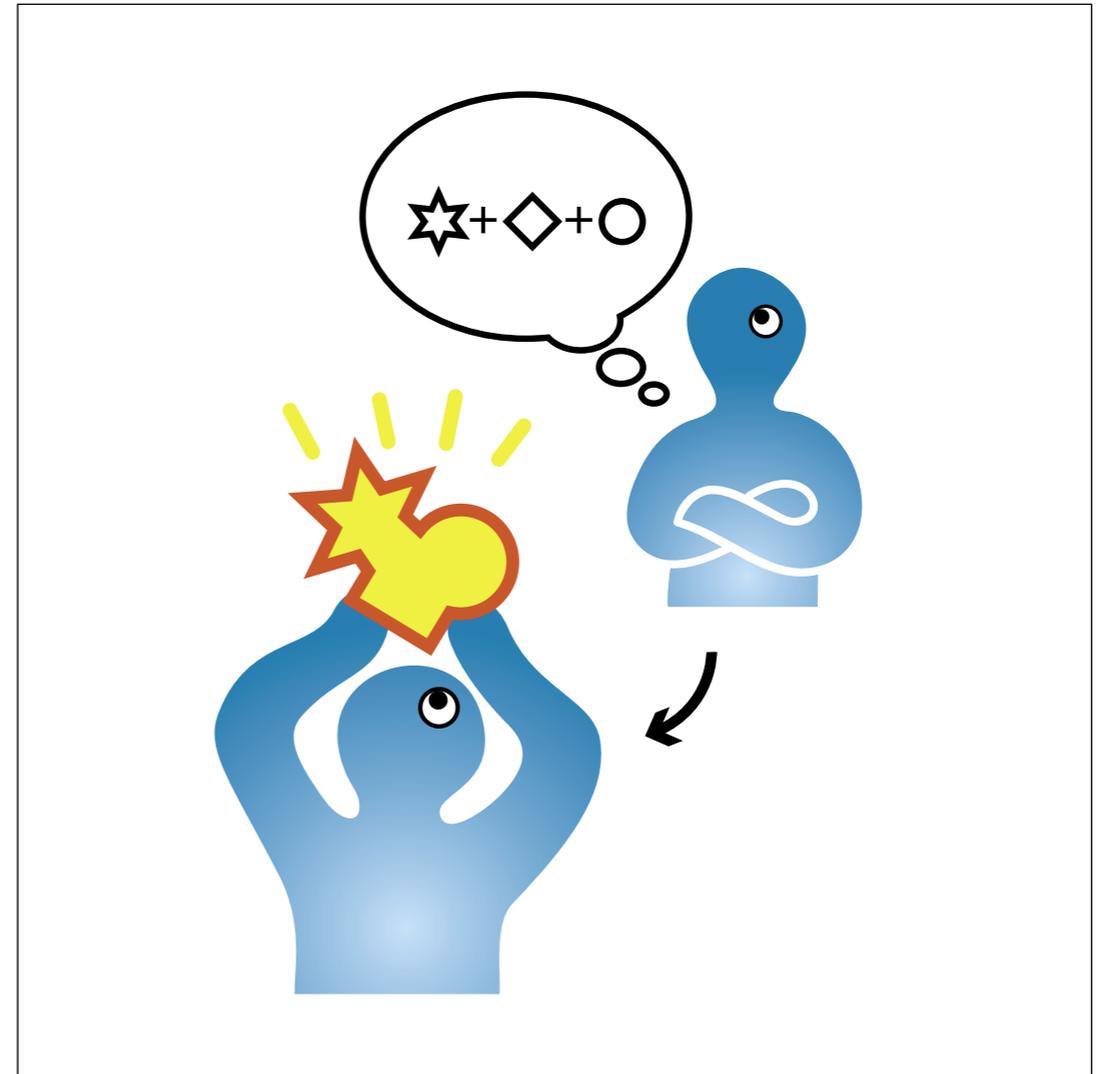
### ルールを守る、または自ら変えることも一考

一度決めたルールは、趣旨を話せるよう理解を深め、それを守りましょう。もし不合理なルールがあれば、自分の手で変える努力をしてください。



### 評論家やフォロワーになるのはNG

「評論家」とは、評論や批判や講釈だけを言い、自らは何もしようとしない人。「フォロワー」とは、自分の意見を持たずして、あるいは押し殺して、誰かに同調するだけの人です。



### 自分の考え、アイデアを出す

解決策を自ら率先して提出、発信しましょう。個々のスタッフが自分のアイデアやプロトタイプを持ち寄れば、想像もできない解決策を生み出すことができます。



### 上手くいかない状況を周りのせいにしない

自分はちゃんとやっているのに、市況が……、チームが……、お客様が……」。ままならない状況をただ嘆き、周りのせいにして終わる人。そんな人には、問題が起きる状況が増加し、今後の成長も見込めないでしょう。なぜなら、他責は根本的な問題解決にならないからです。



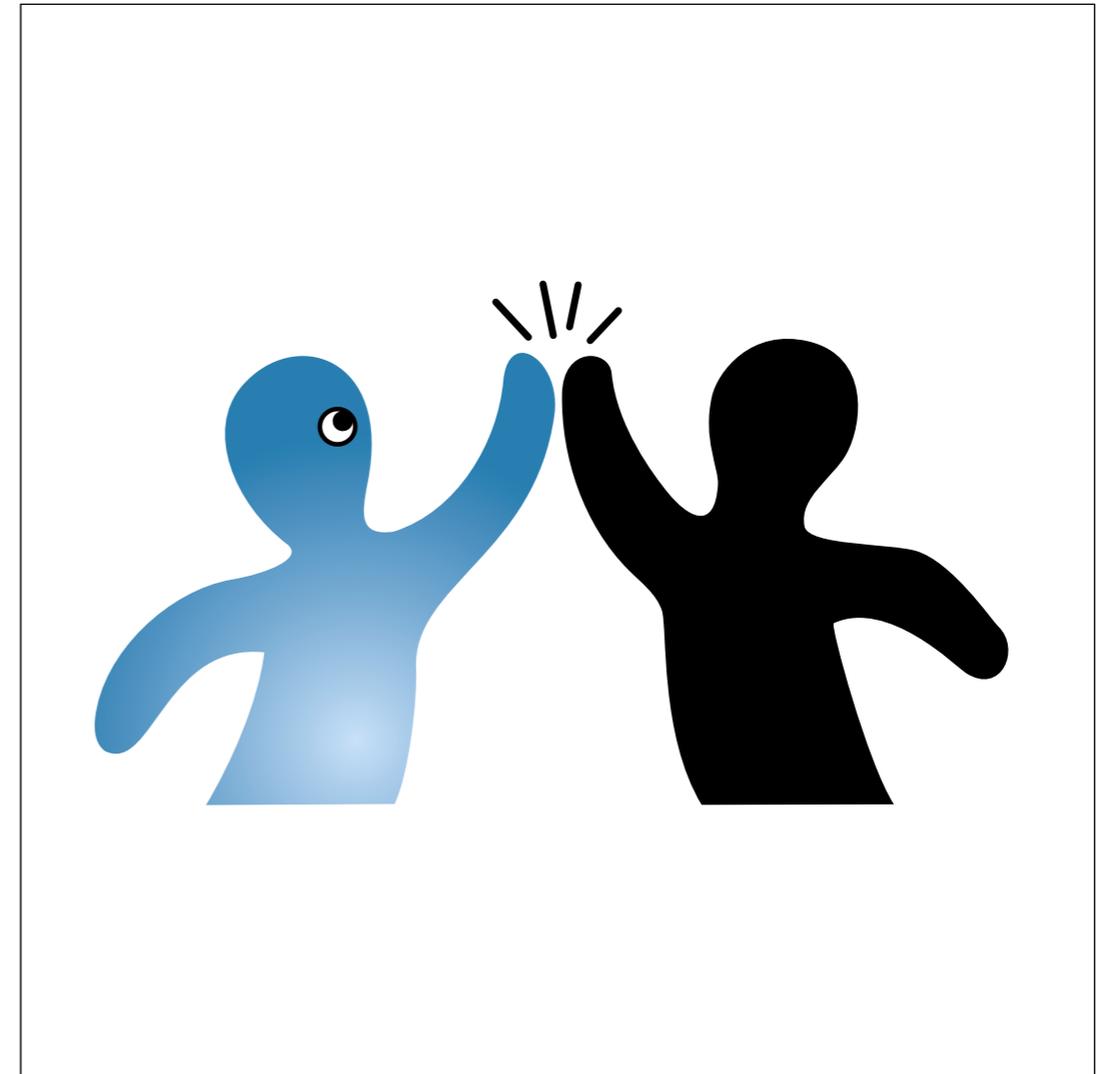
### 自分がどうすれば良かったのか、を考える

問題の責任が誰にあるかを考えるのではなく、問題発生の原因や、問題回避の方法を考え、今後、同じことが起きないように努める……。その思考が問題発生率を軽減させ、自分自身の成長となり、やがて企業発展につながります。



### 自分の考えに固執しない

「自分が正しい」と強く信じている時は、相手の景色を忘れてしまいがち。自分の信念を貫くことは大事ですが、仲間の意見を尊重することも大切です。



### 個々の責務で仲間のやる気を引き出す

たとえチームや自分が辛い状況でも、個々のモチベーションアップに尽力しましょう。これがチームで仕事をするということの基本です。

## **mission**

人々の暮らしに安全・安心を提供し続ける

## **vision**

徹底した技と多角的な視点の融合により、新たなスタンダードを創造する